（別紙４）

１　自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2172100881		
法人名	医療法人　静風会　大垣病院		
事業所名	グループホームHIPPO		
所在地	岐阜県大垣市　室村町１丁目１７８番地		
自己評価作成日	平成21年6月5日	評価結果市町村受理日	平成21年8月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	http://kouhyou.winc.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2172100881&SCD=320

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人　旅人とたいようの会
所在地	岐阜県大垣市伝馬町110
訪問調査日	平成21年7月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

1　医療との連携・・・・母体が医療法人の為　信頼ある主治医の受診が定期受診の他
いつでも　診て貰えるという安心感が有り、入居者様、ご家族にも
喜ばれている。職員も医療との強い連携の元　安心してケアさせて頂いている

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

入居者全員参加の運営推進会議を開催し、又積極的に地域に出かけて馴染みの関係を築き、認知症の啓蒙にも効果を上げている。母体病院の医師が主治医となっており、入居者・家族のみならず職員にも安心と信頼を与えている。身体機能に応じた排泄支援を行い、昼間は布パンツを使用する入居者も多い。丁寧なアセスメントを元に入居者一人ひとりの力を発揮する場面を作り出し、穏やかで笑い声が絶えないホームとなっている。

Ｖ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の２/３くらいの
			3. 利用者の１/３くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の２/３くらいが
			3. 利用者の１/３くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の２/３くらいが
			3. 利用者の１/３くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の２/３くらいが
			3. 利用者の１/３くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の２/３くらいが
			3. 利用者の１/３くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の２/３くらいが
			3. 利用者の１/３くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の２/３くらいと
			3. 家族の１/３くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20）		1. ほぼ毎日のように
		○	2. 数日に1回程度
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4）	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の２/３くらいが
			3. 職員の１/３くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の２/３くらいが
			3. 利用者の１/３くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の２/３くらいが
			3. 家族等の１/３くらいが
			4. ほとんどできていない

グループホーム　HIPPO

自己評価および外部評価票

〔セル内の改行は、(Altｷｰ) ＋ (Enterｷｰ) です。〕

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	特に地域密着型とHIPPO理念に盛り込んではいないが　開所当時から現在までの地域とのふれあい深い	ホーム内の目に付くところに理念を大きく掲げ、常に念頭において入居者と関わっている。開設当初から「認知症になっても馴染みの地域の中で、馴染みの人々と普通に暮らす」ことを目指し、その実践に向けて日々取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事参加、回覧板活用、運営推進会議等で交流	地域の夏祭りや草むしり等に積極的に参加している。毎日の散歩時にゴミ拾いをし、顔見知りの住民と挨拶を交わす等日常的に関わっている。近く地域で出前講座を行う予定であり、地域住民に対する認知症の啓蒙にも効果を上げている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域住民よりの相談にのっている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、入居者様ほぼ全員が参加、意見を活かしている	入居者全員と地域住民、家族の代表、市高齢介護課職員の参加を得て、夜の7時から（全員の参加しやすい時間）開催している。職員の積極的な働きかけで、参加者から活発に意見・要望が出るようになり、直ぐに対応する等サービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に、市役所高齢福祉課職員も参加又権利擁護の入居者様二名居られ綿密に協力関係有り	市の働きかけで、他のグループホームの介護支援専門員と有意義な交流の場がもてるようになった。普段から関わりを持ち、何でも相談できる関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事故防止の上から、やむをえない施錠はさせて頂いている(住居が二階であり階段での 転落防止の為）が、申し訳無いと思っている	職員全てが身体拘束の弊害を理解しており、折に触れ話し合いをしている。2箇所の入口の1箇所は工夫により解錠できている。居室の解錠は常態化しているが、契約書に居室の鍵についての記載がある。	一部の居室が中から鍵が掛けられる状態のままであり、又契約書にも居室の鍵についての記載がある。事故や誤解を防ぐ為にも撤去・削除を期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	管理者の外部研修、法人の全員研修、HIPPO内研修にて学び防止に努めている		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	医療法人が母体の為、学ぶ機会多い 入居者様の中にも活用されている方居られ支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	出来ている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に毎回参加されるご家族代表より貴重な意見をいただき活かしている、ほか面会時等活用し職員よりうかがう機会設けている	入居者には、夜のお茶会の折にいろいろ話を聞いている。家族には運営推進会議や訪問時、電話等で意見を聞いている。職員が話を引き出す努力を続けた結果、最近いろいろな意見や要望が出てくるようになり、日々のケアや運営に活かしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見交換し反映させている	代表者や管理者は、日常的に職員に意見や気付き、提案を求めている。職員も積極的に提案し、運営に反映させている。ホーム内で解決できない問題については、代表代理を通して法人代表に提案し解決を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	精一杯努めていると思う		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の研修定期的に有り、今後さらに外部研修多くしたい		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大垣市の計らいにより管理者、サービ計画者の勉強、交流多くなった。今後職員が同業者と交流する様取り組みたい		

自己	外部	項　目	自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントに力を入れご本人の安心を確保出来る様努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス導入時のみならず、ご家族との報告 相談等　まめに行い、関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	病院受診時,歯医者受診時,美容院等ご家族と適時相談,対応している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の個々の家族関係に配慮し乍ら両者に喜んで頂ける様努めている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	努めている	入居前の近所の方や学校時代の友人の訪問がある。入居前の施設や病院への訪問や職員との交流を行うことで懐かしい思いを抱いてもらっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	努めている		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	出来ている（やむなく病院に入られても必要時面会や支援させて頂いている）		
III．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の意思尊重,必要時ご家族と相談している	毎夜のお茶会で思いを尋ねたり、なかなか言い出せない入居者にも話を向ける等、思いや希望を表出できる場面や雰囲気を意識して作っている。 日々の暮らしの中で五感を働かせて入居者の変化を見逃さないようにし、行動や表情からも把握するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	出来ている	原則3ヶ月から6ヶ月で介護計画を見直している。モニタリングは毎月行っており、必要時には職員、医師、社会福祉協議会職員など関係者からの意見を取り入れて現状に即した計画にしている。自ら話し合いに参加しサインしている入居者もいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様に職員同士,意見交換し見なおしに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	取り組んでいる		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	権利擁護の方、ご家族遠方の方ご近所の方其々把握し安全、豊かな生活を楽しめるよう支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体が医療法人の為いつでも受診できご家族も安心されている、主治医との信頼関係大いに有り	殆どの入居者が法人の医師を主治医としており、本人･家族の信頼も厚く、夜間や休日の受診も可能である。歯医者･眼科への受診も個別の事情に合わせて支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	支援できている(今年三月脳内出血の入居者様早期発見、Drより褒められる)		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	行なっている(入院中も適時面会、情報交換、相談に努め関係作りをしている)		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人･家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	母体が医療法人の為早い段階から取り組めている	重度化した場合の対応については、早い段階から話し合い、状態が変わった場合もその都度話し合っている。「最後までここで」と希望する家族もあり、看取り介護の研修も受けているが、現在の所は取り組むところまでは至っていない。	母体医療法人との連携も充分取れており訪問看護も利用できる等恵まれた環境を活かし、重度化した場合や終末期へ向けた話し合いや取り組みを期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	出来ている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的に行ない地域住民との協力体制もできている	春･夏2回避難訓練が実施され、職員も研修を受け避難の手順や方法をしっかり把握している。運営推進会議でも話し合い、災害発生時には近隣住民の協力も得られる体制を築いている。	

自己	外部	項　目	自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	努力している，時折り　入居者様にアンケート や直接話をうかがったりもする	法人での接遇研修に全ての職員が参加している。入居者の部屋替えの必要が生じた時は誇りや尊厳を損ねないようさりげない声かけや支援を心掛けた。また、居室でのポータブルトイレ使用時には扉を閉める配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	なるべく自己決定される様援助している、簡潔な言葉で答えを引き出せる様図っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	其々の思い、ペースを大切に支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容院に行かれる方や　化粧品を購入される方 もいらっしゃり、日常的に支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しく出来ている	スーパーから毎日届く食材を元に献立を考え、準備や片付けにも参加する等個々の能力に応じた役割りを担ってもらうことで、力を発揮する場面を作り出している。職員は、入居者の様子に気を配りながら笑顔がいっぱいの楽しい食卓となるよう配慮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人の管理栄養士により管理された食材が毎日届く、水分は医師の指示ある方特にチェック、他,好みの飲み物用意し充分補充できている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来ている		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	要介護度5の入居者様二名も日中はポータブルトイレにて排泄、他の方も自立支援をしている	個々に合わせたさりげない排泄誘導や支援方法の工夫により、殆どの入居者が昼間は布パンツを使用している。要介護5の入居者も昼間はポータブルでの排泄を支援している。職員手作りの布パットを使用して陰部湿疹を治した入居者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師指導のもと　運動,食事，補水等に取り組んでいる		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1週間に三回の入浴，夜間入浴の希望者はいないが　やれたら入居者様にとって素晴らしい事と思っている	週3回の入浴で、看護師による皮膚観察も行われている。入浴時には一緒に歌を歌ったり昔話をしながら楽しく入浴出来る支援をしている。汚染時は、シャワー浴や清拭で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎晩、八時よりお茶会開催，その日の振りかえり や,回想等も有り　その後ゆっくりと休んで頂いている　　全員が良眠されている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	努めている」		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	其々の楽しみ事を把握し支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	地域内散歩やドライブ、毎日のように行く 今後、地域盆祭りや法人主催の夏祭り等 例年通りの予定多い	日用品の買い物やクリーニング屋へ行ったり、散歩等毎日のように外出している。希望の行き先を募り、おやつを持ってドライブに出かけている。車椅子の入居者も病院受診時に喫茶店に寄り楽しい時間を過ごしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物、喫茶店の支払い等できる方には積極的支援		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各部屋毎にエアコン設置、ご本人の希望入れいつでも適温に設置、風通し良く季節の花や作品などで居心地良い工夫をしている	玄関先で近隣住民が届けてくれた野菜を育てている。廊下には入居者が作った作品の掲示や、休憩用のイスとテーブルを置き居心地よく過ごせる工夫をしている。居間や食堂にはカレンダーや歌詞カードと共に職員用のマニュアルが何枚も張られている。	インフルエンザ対策など入居者にも大切なお知らせはよく分かるようにし、職員用の文書は職員通用口に貼るなど整理と工夫をお願いしたい。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーがありそこで仲間同士談笑される場面有り、又一人で音楽を聞かれる方有り活用されている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	其々工夫している	居室には、自宅から持参した家具やテレビ、化粧品、家族の写真などが置かれ、入居者それぞれが個性を活かした居心地の良い居室となるよう支援している。	
55		建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下等に手すり無いが、その分職員駆けつけ 必要時介助している。(トイレ等に鈴取り付け、 その音にて駆けつけ介助している)		